

うたごの
のん **大安賣**

強情

各様方並新機地能くも雲と此院を極不持存此
 指の私者好羊未喫つたる山は入魚の其敷候面
 是も有之出る何ら七候は此好法を極念のうたごの
 此たの申候の法を立止る上を展くもげし雲の
 安る方と云中候つたの合出候は間にお替は用向
 大燈付しれ市並然又此親を極方と云るらく此
 院之強秘と云希上の以上

- 一 方便 出さ 一 呪言 生料二十ハタカ
- 一 謀計 防小毒 一 商人の嘘 元遠くたり
- 一 女郎之嘘 おいらうのうそ 一 晦日の嘘 あつちと



鉄砲所
うたごのきや
弥次家玄猪

元世開高日庵系と云上ア候りりとのと云と云ら

